従業員ノ家族諸君に訴へ奉す

十月十六日
日出ゴム工業印争議団
東京府向島区寺島町 [illegible]
江東工場 [illegible]

色々と御心配をかけて申訳ありません。色々と騒ぎを世ないで済ますために、色々と策を析りましたが、いかにも主人側が判らず中さるので止むなくなりました。即ち、十四日に嘆願いたしました所、主人側は嘆願を聞かふともせないで、怒鳴り付けますので、皆んなで相談しました所、いきり立った皆様は皆んなで外に出て相談しようと云ふことになりました。すると主人の方では無理に引止めましたので、皆んなはその心はあり乍ら、出ることが出来ず、結局半数位が外へ出ました。ストライキをやっても嘆願項目を容れて貰ふ決心で連判したものは二十名近く居るのですが、そんな訳で十一名位しか固まりませんでした。それでも、工場では仕事が出来ないで、やっと今日あたりから、残った小人数でコソコソ始めました。仕事をしてる人達も外に出た者と同じ心ですから口をく仕事は出来ない相です。

扨てそんな訳で、其れから四五名の代表を選んで主人の方へ交渉に行きましたが、話がまとまりません。[illegible]も心配して、[illegible]も心配して呉れた家もありましたが、主人の方で言ふことをきかないでした。で私共の方では、それでは主人の言ふように、主人の顔を立て、古川さんの解雇を認めるから、他の要求項目の中、二項法で命令されてることを実行することも契ってくれと申し出ましたが、それまでも拒絶されましたので、止むなく、今では最后迄戦ふ外ないと言ふことになりました訳です。

私共が心配なのは、外に出た十名位の者より中で心配乍ら働かされてる人達が、悪なに苦しむだらうと云ふことです。その人達は心は同じでも、主人側の例のオドカシや甚だしい逆宣伝のため厭々でも仕事をせねばならぬからです。それに一時ストライキ破りの目的で主人側でも、仕事をさせて、争議団を切り崩すために、中に働らく者には大切にするかも知らず、その中に裏切者と呼ばれる情けないことになるからです。

主人側は、都合のよいことを作りあげて、皆様に私共の悪口を言って廻ってると聞きます。然し決して御安心下さい。私共は決して御心配なさるような悪いことはいたしません。他人の煽動などで動きません。私共は正々堂々と、戦かって、キット主人側の反省を促がして、悪いことを改めさせて、皆様のためになるよう、私共のためになるように、奮闘いたしますから、しばらくの間がまんして下さい。そして今后、刻々にお知らせいたしますから、御協力下さいませ。そして争議に参加せず残って、[illegible]な気持で心配しつつ働いてる従業員にも[illegible]働らきますよう、鼓励して下さいまし。